

あなたが輝く^{ストーリー}STORY



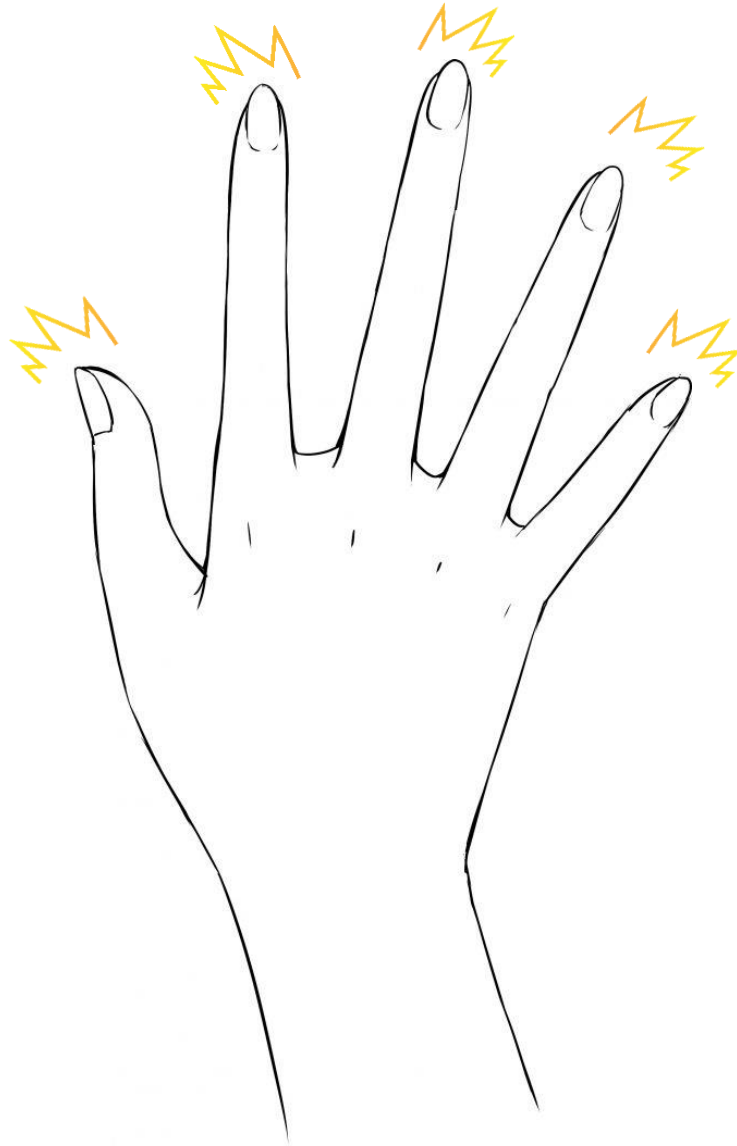
Season.1

ヒーリング・サロン経営
ユーコ様が体験した、奇跡の物語

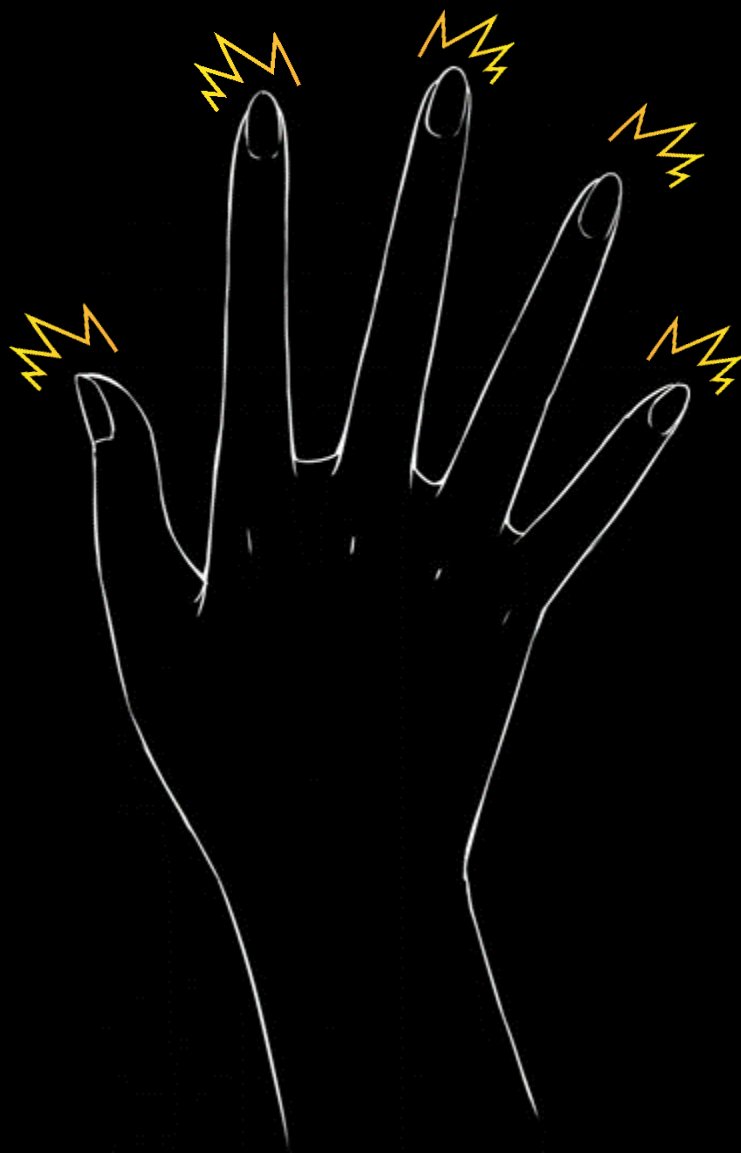
第1話

謎の右手指先のしびれ

ある日突然現れた、
「謎の右手指先のしびれ」。



それが私の運命を変えることになるなんて、
想像もしていませんでした。



10年前

私は30歳の頃に、
「ヒーリング・サロン」を開きました。



念願の
お店♪



それから、お店を
頑張って運営してきました。



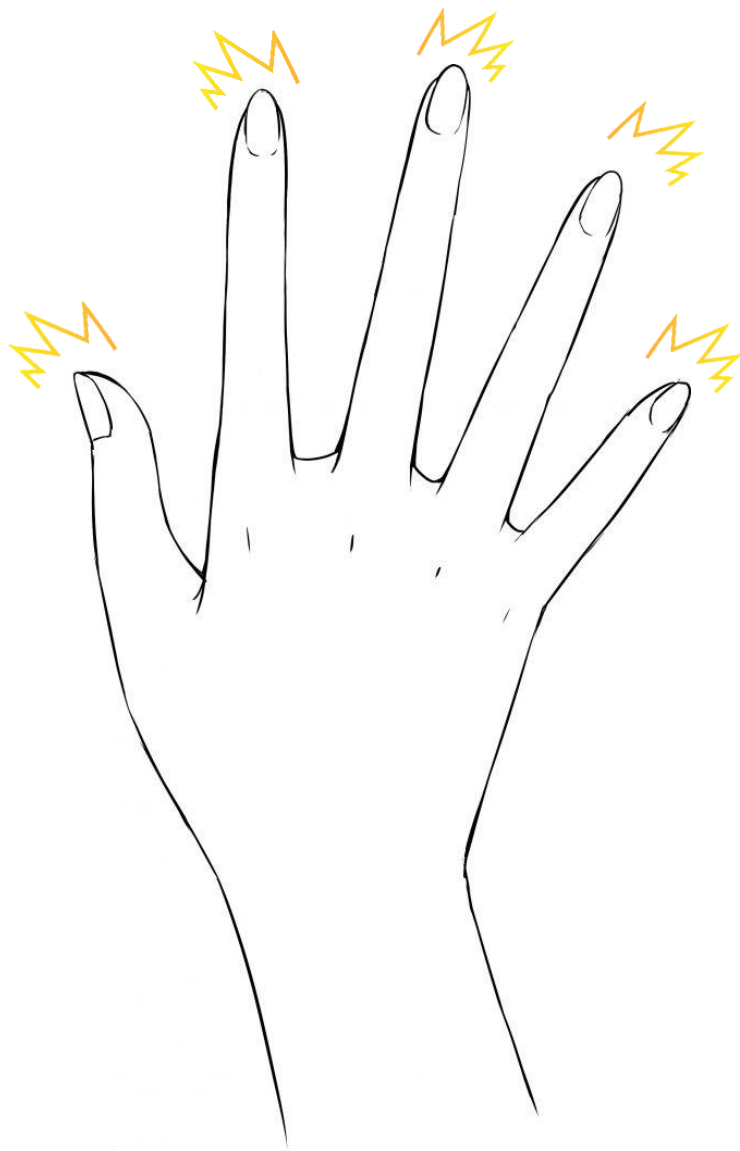
必死に働いた結果、
売り上げの面では、軌道に乗ってきました。



しかし・・・



気がつくと、
「謎の右手指先のしびれ」が現れたのです。



痛みは無いのですが、^{まひ}麻痺している感じ
指先がしびれて、
^{さわ}「**触っている感覚が無い**」のです。




それによって、持っていたモノを
落としてしまうことが何度もありました。

「なんとかしないと！」と思い、
病院で診断していただいたのですが…



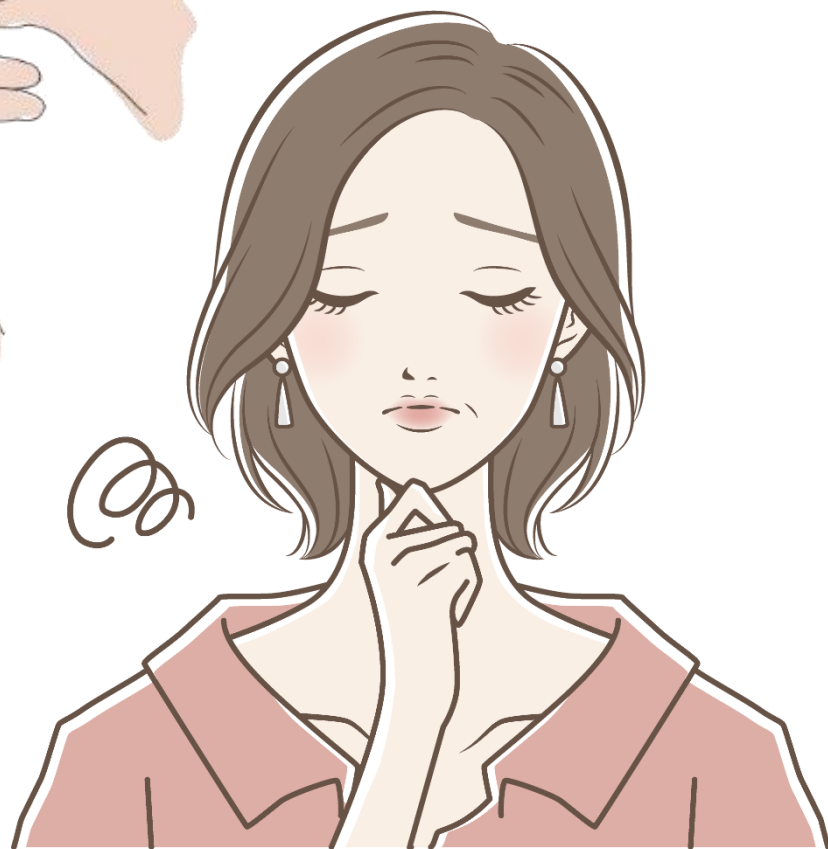
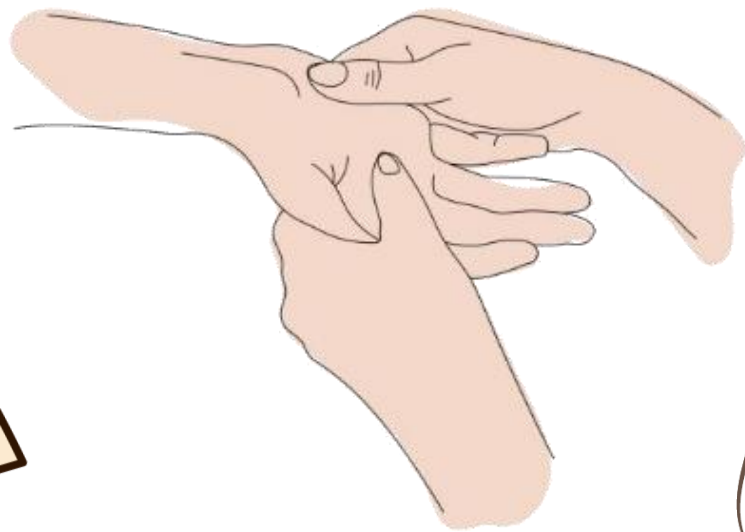
異常は特に無いですね。
過労じゃないですか？



…そう、
ですか。

とのことで、異常は見当りませんでした。

他にも色々な整体関連や、
マッサージを受けてみましたが、
特に効果を感じられませんでした。

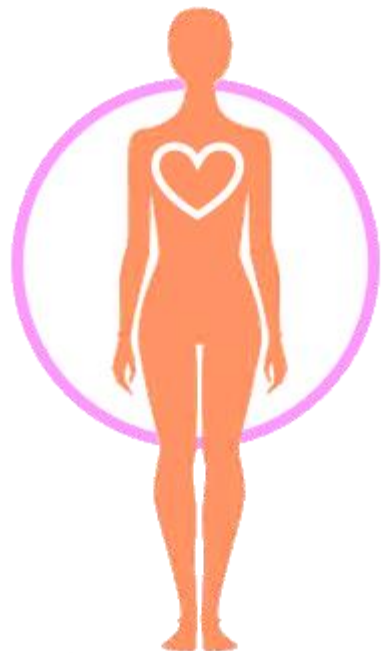


なか

半ば、あきらめていた時・・・

友人からの紹介で知ったのが、
『心身元氣楽』さんの存在でした。





心身元氣樂

ココロとカラダは つながっている

という言葉に興味を惹かれて、
予約を試してみることにしました。



「謎の右手指先のしびれ」
についてお訊きしたところ、

心の奥にあるものが
カラダの反応として、
現れている可能性があります。

心身元氣樂

と、説明していただきました。

最初は半信半疑でしたが、
試しに施術を受けてみることに。



ココロとカラダの状態を整えるために、

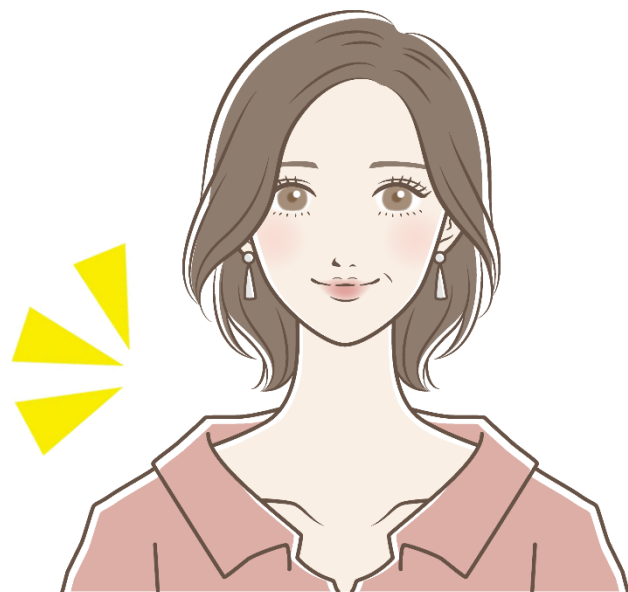
ちょうわせっていきほう

『調和設定技法』

じゅうしんちょうりつきほう

『重芯調律技法』

という施術を
受けることにしました。

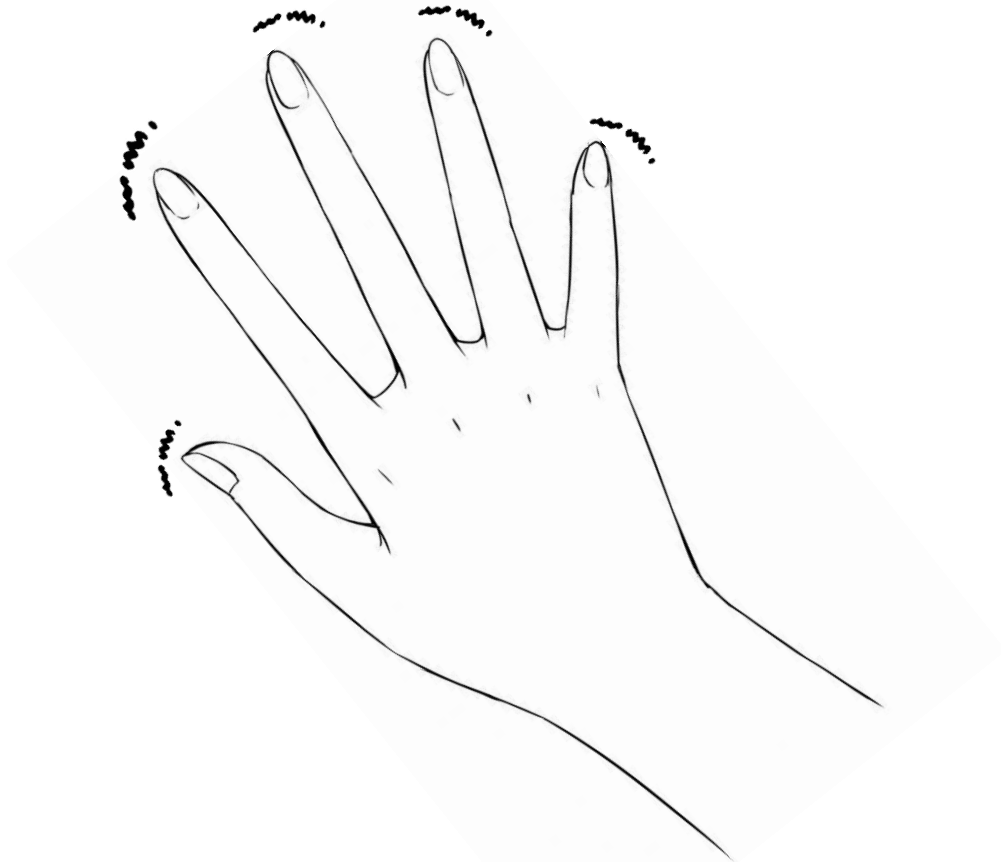


実際に、施術を受けてみて・・・

ココロが^{やす}安らいで、カラダが軽くなり、
前向きな気持ちになっていることに驚きました。

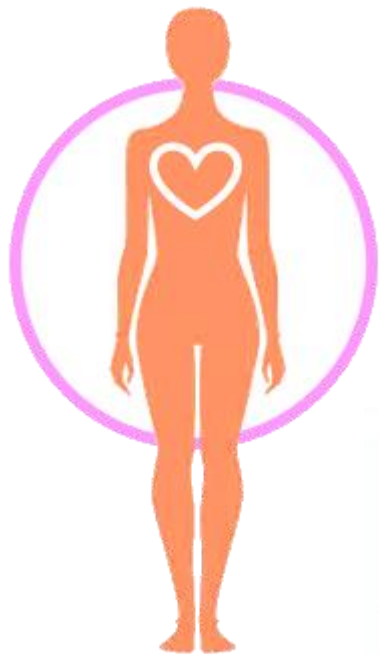


「謎の右手指先のしびれ」は
完治したわけではありませんでしたが、



「しびれ」が、
弱まっていることに気づきました。

私は可能性を感じて、
定期的に施術を受けることにしました。



そして・・・

何度か施術を受けているうちに、
ココロに大きな変化が現れました。

ココロの奥にしまっていたことが、
あふれ出てきて、浮き彫りになったのです。



それは主に「ヒーリング・サロン」の
方向性やメニューに関わることでした。

売り上げを追い求めるあまり、
心の底から納得していないメニューを、
お客様に提供していたこと

一人一人のお客様と、
丁寧に向き合えていなかったこと

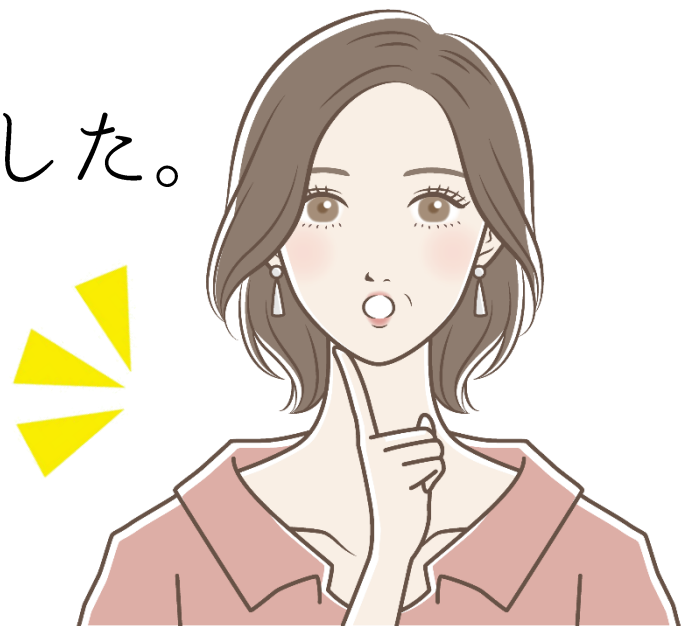
等、ココロに蓋^{ふた}をしていたことが、
どんどん出てきたのです。





施術を重ねていくと、
「本来の自分」が目覚めて、
「**自分が本当に望むこと**」
が湧き出てきますよ。

と、説明があったので、
「このことかも！」と思いました。



でも、私の勘違いや思い込みの
可能性もあります。

そこで・・・

「魂の声」を

カラダの反応を通して観測する、

いおんかんそくほう

意音観測法

という施術をお願いしました。

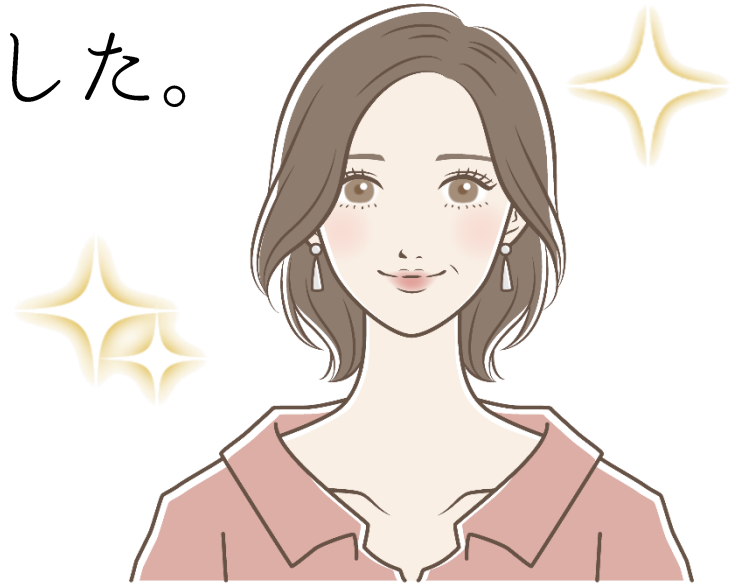


その結果、

売り上げ重視のメニューを、

全てやめる

という答えが出ました。



「本来の自分」は、そう望んでいるんだ。
妙な納得感と、驚きのある不思議な感覚でした。

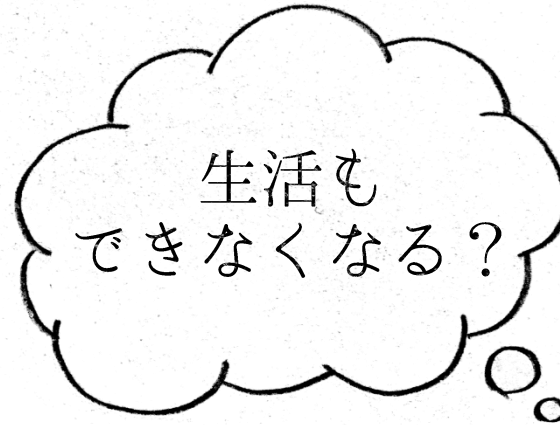
しかし、ここで大きな決断に
迫られることとなります。

売り上げ重視メニューを**全てやめると...**



必然的に**売り上げ**はガクンと減り、
「お店」の家賃は払えなくなるでしょう。

それどころか、自分の食費や美容代も・・・



いっきにお金が無くなってしまい、生活することさえも不安になります。

これまで通り、現状の生活をとるか。
「本来の自分」として生きるのか。

私は、決断しました。

愛着のある「お店」を
手放す・・・と。



ここから、私の
「本来の自分」としての
物語は始まったのです。

第2話へ、続く。

もう一度
最初から見る

